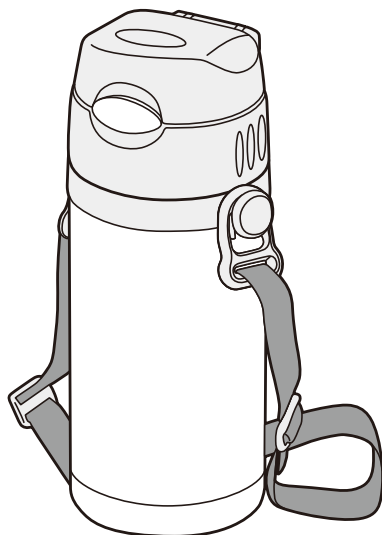
取扱説明書

品番：FFS-402S

重要 ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
部品購入時に必要になりますので捨てずに保管してください。

保冷専用

もくじ

各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることを確認してください。

飲み口

ストロー

バルブ

フタ

飲み口

ボタン

キャップ本体

ストロー

パッキン
※漏れを防ぎます。

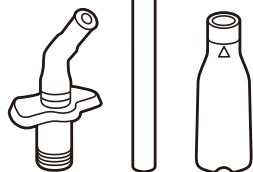
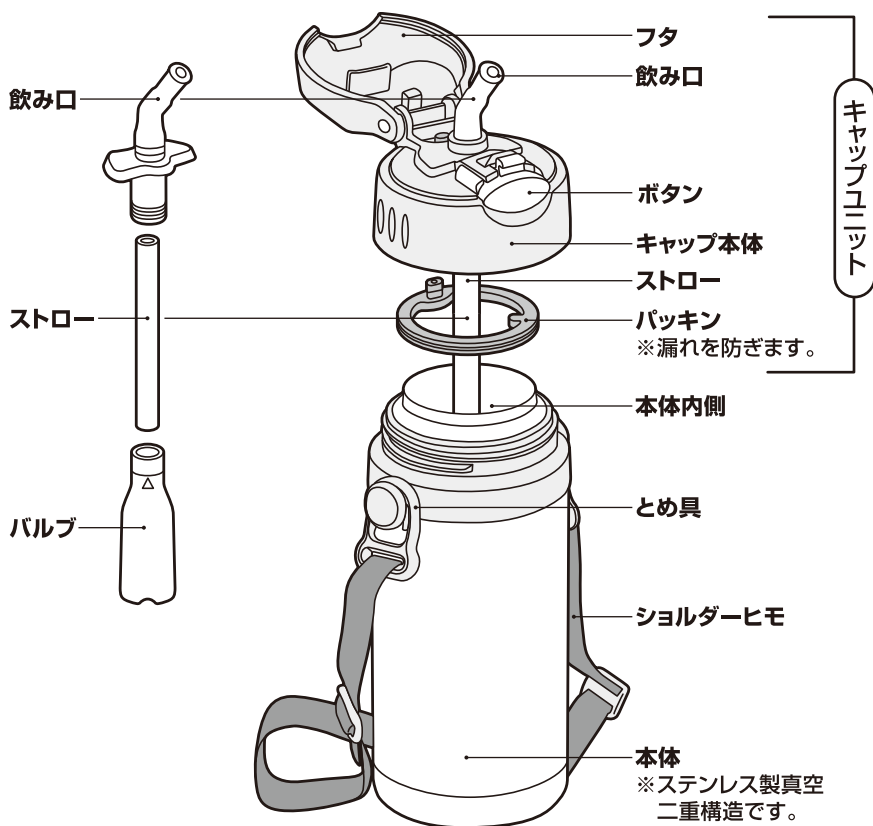
キャップユニット

本体内側

とめ具

ショルダーヒモ

本体
※ステンレス製真空二重構造です。

交換用ストローセット付き

安全上の注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

表示マークの意味について

■製品を正しくお使いいただくために、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を以下の表示で区分しています。

⚠警告	死亡、または重傷を負う恐れがある内容を示しています。	⚠注意	軽傷、または物的損害を負う恐れがある内容を示しています。

■図記号について

⃠禁止	してはいけない内容を表しています。	❗必ず行う	必ずお守りいただく内容を表しています。

⚠警告

禁止 **保護者の目の届かないところで使用させないでください。また乳幼児のいたずらには十分に注意してください。**

＊取りはずした部品を誤飲して窒息する原因になります。また、けがの原因になります。

禁止 **熱い飲みものは入れないでください。**

＊熱い飲みものが直接口内に入るため、やけどの原因になります。

＊内圧が上がり、キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものがふき出るなどして、やけどやけがの原因になります。

禁止 **乳幼児・小学生のお子様は、ショルダーヒモを首からかけずに肩からななめ掛けしてください。**

＊ショルダーヒモが他のものに引っかかり、窒息やけがの原因になります。

禁止 **ショルダーヒモをかけた状態で運動したり、遊んだりしないでください。**

＊ショルダーヒモが他のものに引っかかり、窒息やけがの原因になります。

必ず行う **飲み口をかみ切らないよう注意してください。**

＊誤飲して窒息の原因になります。また漏れてものを汚したり、フタの作動不良の原因になったりします。

⚠注意

禁止 **飲みものを入れる目的以外に使用しないでください。**

＊けがなどの原因になります。

必ず行う **キャップユニットは専用の飲み口・ストロー・バルブ・パッキンを正しく取り付けてください。【☞P.10】**

＊漏れてものを汚す原因になります。またフタの作動不良の原因になります。

禁止 **ストーブやコンロなどの火気に近づけないでください。**

＊やけどや変形・変色の原因になります。

。

キャップユニットは確実に閉めてください。【☞P.6❸】
必ず行う
＊漏れてものを汚す原因になります。

飲みものの量は図の位置までにしてください。
必ず行う
＊入れすぎると、キャップユニットを閉めたときに飲みものがあふれ出る原因になります。また使用中に漏れて、ものを汚す原因になります。

（断面図）

次のものは絶対に入れないでください。

ドライアイス・炭酸飲料
禁止
＊内圧が上がり、キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものがふき出るなどして、けがやものを汚す原因になります。

牛乳・乳飲料・果汁など腐敗しやすいもの
禁止
＊飲みものの腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものがふき出るなどして、けがやものを汚す原因になります。

お茶の葉・果肉
禁止
＊すきまなどにつまり、漏れてものを汚す原因になります。

大きな氷は押し込まずに小さくしてから入れてください。
必ず行う
＊本体口元の止水部が変形して、漏れてものを汚す原因になります。

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。
禁止
＊けがや漏れてものを汚す原因になります。また保冷不良やキャップユニットの故障の原因になります。

飲みものは早めにお飲みください。
必ず行う
＊飲みものの腐敗の原因になります。

飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。
禁止
＊飲みものの腐敗や変質の原因になります。また腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものがふき出るなどして、けがやものを汚す原因になります。

お手入れの際、次の点を必ず守ってください。

煮沸はしないでください。
禁止
＊熱により部品が変形し、漏れてものを汚す原因になります。

食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。
禁止
＊熱により部品が変形し、漏れてものを汚す原因になります。

飲み口・ストロー・バルブを組み立てた状態でお手入れしないでください。ストロー内に洗浄液が残ります。
禁止
＊残った洗浄液を飲んで体調不良の原因になります。
＊残った洗浄液が使用時に飲み口から出て、ものを汚す原因になります。

禁止

電子レンジに入れないでください。

＊金属部がスパークして電子レンジが故障する原因になります。

＊熱により部品が変形し、漏れてものを汚す原因になります。

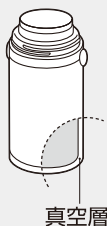
禁止

キャップユニットのフタを開けた状態でキャップユニットの取り付け、取りはずしはしないでください。

＊変形・破損して、漏れてものを汚す原因になります。

禁止

真空二重構造の内部（真空層）から水の音がする場合は使用しないでください。

＊真空層の水が本体内側にしみ出した場合、飲んで体調不良の原因になります。

禁止

改造・分解・修理は絶対にしないでください。

＊故障・事故の原因になります。

禁止

ショルダーヒモを持って振りまわしたり、強く引っぱったりしないでください。

＊振りまわすなどして周囲の人と接触した場合、けがの原因になります。また強く引っぱると、ショルダーヒモが破損する原因になります。

必ず行う

バッグなどに入れる場合はバッグの中身などでボタンが押されないように注意してください。

＊漏れてものを汚す原因になります。

必ず行う

本体に飲みものを入れる際は転倒に注意してください。

＊飲みものがこぼれ、ものを汚す原因になります。

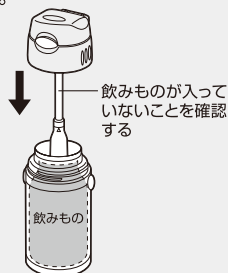
必ず行う

製品には必ず専用の部品を取り付けてください。

＊漏れてものを汚す原因になります。

必ず行う

キャップユニットを取り付けるときは、ストロー内に飲みものが残っていないことを確認してください。

＊本体に飲みものが入っている状態でキャップユニットを取りはずすと、ストロー内に飲みものが残ることがあります。そのまま取り付けると、ストロー内の飲みものが空気で加圧され、フタを開けたときに飲み口からふき出て、ものを汚す原因になります。

使用上のお願い

みそ汁・スープなど塩分を多く含んだものは入れないでください。

＊本体内側は18-8ステンレスを使用していますが、塩分によりさびる原因になります。

製品の構造上、湿度が高いとき、キャップユニットに水滴が付く（結露する）ことがありますのでご注意ください。

強い振動や本体内部の温度、圧力の変化などにより本体内部の空気が膨張し圧力が高まると、フタを開けた時に飲み口の先端から飲みものが出てくる場合がありますのでご注意ください。

お出かけ前に、製品を逆さにして漏れのないことを確認してください。

＊漏れた場合はP.12「こんなときは…」の項目をお確かめください。

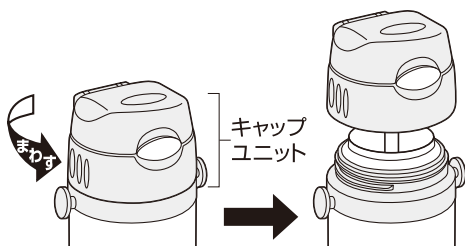
バッグなどに入れる場合は万一の漏れを防ぐために製品を縦置きにしてください。また貴重品（携帯電話・カメラ等）を一緒に入れないでください。

保冷性能が低下したときは使用しないでください。

使い方

❶ キャップユニットをはずす

キャップユニットを矢印の方向に
まわしてはずします。

≪ご使用前に≫
キャップユニット・本体内側を
十分に洗ってください。
【☞P.8】

❷ 飲みものを入れる

飲みものの量は図の位置までにしてください。入れすぎると、キャップユニットを閉めたときに飲みものがあふれ出る原因になります。

本体に少量の冷水を入れ、1分程度予冷すると保冷に効果的です。

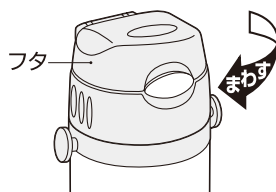
（断面図）

❸ キャップユニットを閉める

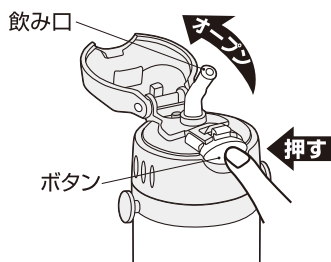
フタを閉めた状態で、キャップユニットを
矢印の方向にまわして確実に閉めます。

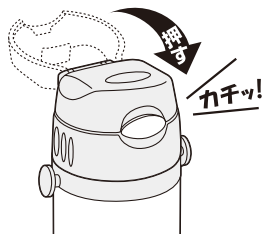
⚠注意

キャップユニットを取り付ける際は、ストロー内に水分が残っていないことを確認してください。

※ストロー内に水分が残っていると、フタを開けたときに飲み口の先端から飲みものが出てくる場合があります。

❹ 飲みものを飲む

①本体を立てた状態にして、ボタンを押してフタを開けます。

②飲み口から飲みます。

❺ 飲み終わったら

本体を立てた状態にして、フタを“カチッ”と音がするまで押して、確実に閉めます。

お手入れ

臭いや汚れ・カビを防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただく

●ご使用後は、すぐにきれいに洗い、十分乾燥させてください。
●飲み口・パッキン・ストロー・バルブを取りはずし、きれいに洗ってください。
●長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保管してください。

部品名／洗い方		キャップユニット		本体	
		フタ キャップ本体	飲み口 ストロー バルブ パッキン	内側	外側
流水洗い		○	○	○	○
つけ洗い		○	○	○	×
漂白剤	酸素系	○	○	○	×
	塩素系	○	○	×	×
食器洗浄機 食器乾燥機		×	×	×	×

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みの上、必ずお守りください。

禁止 **煮沸はしないでください。**
＊熱により部品が変形し、漏れてものを汚す原因になります。

禁止 **本体は水中に放置しないでください。**
＊すきまに水が浸入し、さびや保冷不良などの原因になります。

禁止 **本体は塩素系漂白剤を使用しないでください。**
＊さびや保冷不良の原因になります。

禁止 **本体外側は漂白剤を使用しないでください。**
＊塗装・印刷・シールなどのはがれの原因になります。

禁止 **食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。**
＊熱により部品が変形し、漏れてものを汚す原因になります。
また塗装・印刷・シールなどのはがれの原因になります。

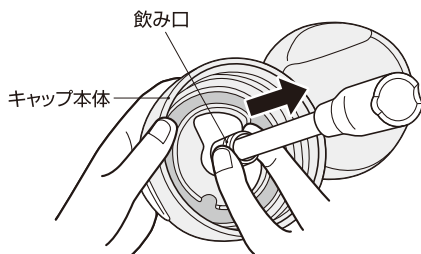
禁止 **シンナー・ベンジン・金属タワシ・みがき粉・クレンザーは使用しないでください。**
＊さびや傷などの原因になります。

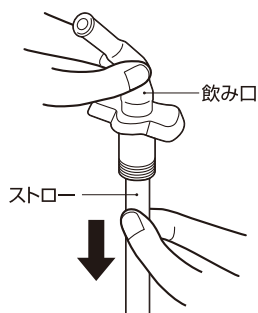
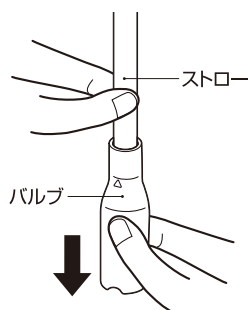
禁止 **飲み口・ストロー・バルブを組み立てた状態でお手入れしないでください。ストロー内に洗浄液が残ります。**
＊残った洗浄液を飲んで体調不良の原因になります。
＊残った洗浄液が使用時に飲み口から出て、ものを汚す原因になります。

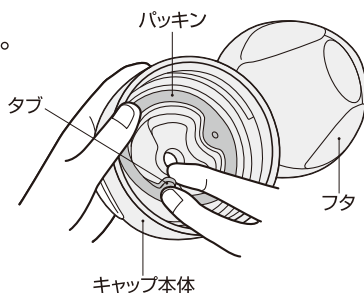
飲み口・ストロー・バルブのはずし方・取り付け方

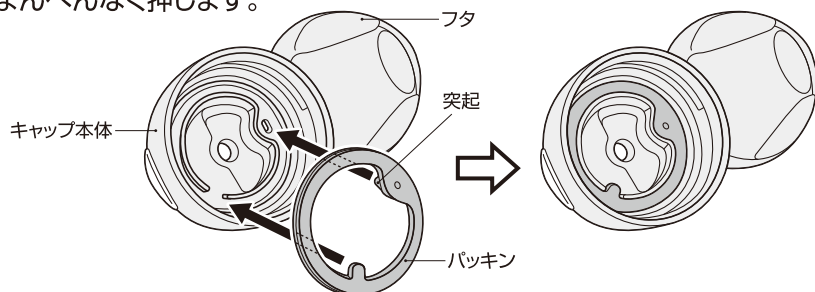
■キャップユニットのはずし方【☞P.6】

❶ 飲み口のはずし方

フタを開けた状態で飲み口内側の
ストロー取り付け部を持って
キャップ本体から引き抜きます。

❷ ストロー・バルブのはずし方

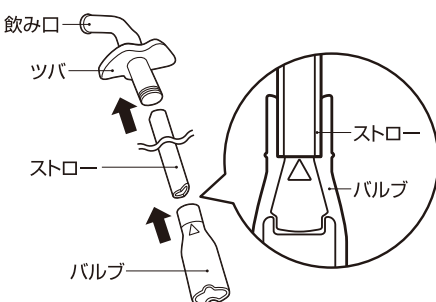
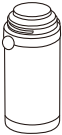
飲み口からストローを引き抜き
ます。

ストローからバルブを引き抜き
ます。

❸ パッキンのはずし方

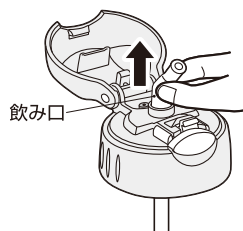
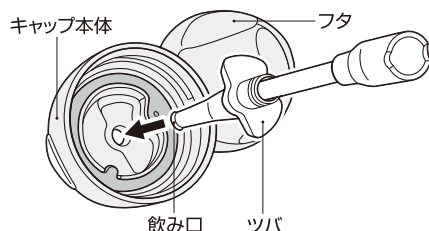
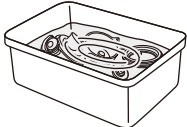
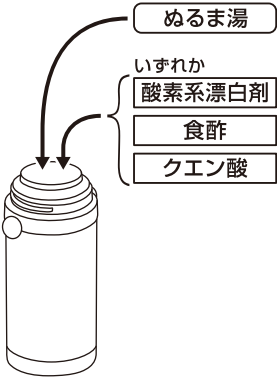
パッキンのタブをつまみ、取りはずします。

❹ パッキンの取り付け方

フタを開けた状態で、パッキンの突起をキャップ本体の穴に差し込み、全周にわたって確実に取り付けます。取り付けた後はパッキンが浮かないように指でまんべんなく押します。

❺ 飲み口・ストロー・バルブの取り付け方

ストローを飲み口のツバの位置まで差し込みます。
バルブをストローの先端がバブルの△の位置になるまで差し込みます。

⚠注意

飲み口が破損していないことを確認してください。

❻ 飲み口をキャップ本体に取り付ける

フタを開けた状態で、キャップ本体と飲み口のツバ位置を合わせ、飲み口の先端をキャップ本体の下から穴に通します。

キャップ本体と飲み口のツバとのすきまがあかないように、飲み口を持って、確実に引っ張ります。

【普段のお手入れ】

●ぬるま湯でうすめた食器用中性洗剤を使用し、すすいだ後は、よく水を切り、十分乾燥させてください。

キャップユニット	**フタ・キャップ本体・パッキン** やわらかいスポンジを使用してください。 **飲み口・ストロー・バルブ** ストロー専用ブラシを使用した後、内部を強めの水流で洗い流してください。
本体	やわらかいスポンジやボトルブラシを使用してください。 外側はすぐに乾いた布で拭いてください。 ※水滴の跡やさびの原因になります。

【念入りのお手入れ】

●台所用漂白剤の取扱説明書の指示に従い使用し、すすいだ後は、よく水を切り、十分乾燥させてください。

キャップユニット 	**〈茶しぶなど〉** ボウルなどの容器に漂白剤と水を入れ、各部品を浸けてください。（目安30分）
本体内側 	**〈茶しぶなど〉** 内側のみ酸素系漂白剤またはポット用洗浄剤を使用してください。（目安30分） ≪ ⃠禁止 塩素系漂白剤 ≫ キャップユニットは取り付けないでください。 ※本体の内圧が上がり、キャップユニットが飛び出すなど危険です。 **〈斑点状の赤いさび〉** 水に含まれる鉄分などが付着したものです。 食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れ、約30分後によく洗ってください。 **〈ザラザラしたもの〉** 水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。 クエン酸を1～2%程度入れたぬるま湯を本体に入れ、キャップユニットを取り付けずに約3時間後によく洗ってください。

こんなときは…

分からないことがありましたら、以下の項目をお確かめください。

不具合	原因	対処方法
キャップユニットから漏れた	キャップユニットが確実に閉まっていない	キャップユニットは確実に閉めてください。【☞P.6❸】
	飲み口が確実に取り付けられていない	飲み口は確実に引っぱって取り付けてください。【☞P.10❻】
	飲み口の内部に飲みものが残っている	飲み口に飲みものが残っていないことを確認してからフタを閉めてください。
	飲みものを入れすぎている	飲みものは規定の量までにしてください。【☞P.6❷】
	パッキンがはずれている・確実に取り付けられていない	パッキンは正しい位置に確実に押し込んで取り付けてください。【☞P.10❹】
	パッキンや飲み口が消耗・切れている	別売の交換用部品を用意しております。お買い上げの販売店またはお問い合わせ先までご相談ください。【☞P.13】
飲みものが飲めない	ストロー・バルブがはずれている	ストロー・バルブは必ず取り付け、それぞれ確実に押し込んでください。【☞P.10❺】
飲みものが残る	ストローにバルブを差し込みすぎている	ストローはバルブの△の位置まで差し込んでください。【☞P.10❺】
本体内側が変色した	汚れが付着している	酸素系漂白剤またはポット用洗浄剤を使用してください。【☞P.11】
	斑点状の赤いさびが付着している	水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を使用してください。【☞P.11】
	ザラザラしたものが付着している	水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を使用してください。【☞P.11】
保冷が効かない	十分に冷たい飲みものを入れていない	冷たい飲みものを入れてください。またあらかじめ本体内側を予冷しておくと効果的です。
	飲みものの量が少ない	氷や飲みものの量を増やしてください。
異臭がする	本体内側やキャップユニットに汚れが付着している	きれいに洗い、十分乾燥させてください。異臭が取れない場合は酸素系漂白剤またはポット用洗浄剤を使用してください。【☞P.11】
飲み口・ストロー・バルブ・パッキンが変色した	汚れ・カビが付着している	漂白剤を使用してください。汚れ・カビが落ちない場合は廃棄し、別売の交換用部品をお買い求めください。【☞P.11、P.13】

◆上記のいずれの項目にもあてはまらない場合は、お買い上げの販売店またはお問い合せ先にご相談ください。【☞P.13】

仕様

部品名		材料の種類
本体	内側	ステンレス鋼
	外側	ステンレス鋼（アクリル樹脂塗装）
キャップユニット	フタ・キャップ本体・ボタン	ポリプロピレン
	飲み口・バルブ・パッキン	シリコーン
	ストロー	ポリエチレン

保冷効力：12度以下（6時間）

交換用部品（別売）のお求め方法

品番	交換用部品名	メーカー希望小売価格
FFS-402S	FFS飲み口2個セット	400円＋税
	FFSストローセット※1	500円＋税
	FFSパッキン	100円＋税
	FFSキャップユニット※2	900円＋税
	FFSショルダーヒモ	300円＋税

※1 FFSストローセット（飲み口・ストロー・バルブ各1個）
※2 FFSキャップユニット（ストローセット・パッキン付き）

上記交換用部品につきましては、お近くのサンリオ商品取扱店におきましても取り寄せができますので、お問い合わせください。なお、お電話にてご注文を承ります時は、別途送料はお客様の負担となりますことをあらかじめご了承ください。

品質管理には細心の注意を払っておりますが、万一製品に不具合がございましたら、お買いあげいただきました販売店または、下記お問い合わせ先までお問い合わせください。

発売元　株式会社サンリオ
商品に関するお問い合わせ先
〒141-8603 東京都品川区大崎1-11-1
03-3779-8148
受付時間：10時～17時(土日 祝日を除く)
http://www.sanrio.co.jp/

製造元 サーモス株式会社

0714-1